※本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。

Sansei Technologies

中 期 経 営 計 画

2026/3 期 -2028/3 期

三精テクノロジーズ株式会社

モノを動かす技術で世界中のお客様にとびきりの笑顔と感動を
ご提供すべくテルミック、S&S、Ｖｅｋｏｍａ、FORRECと共に
常に技術と品質を追求し 一段の進化・成長を目指します

目次

P03 | 会社プロフィール

P04 | 沿革

P05 | 事業概要

P06 | 業績の推移

P07 | 遊戯機械事業

P08 | 舞台設備事業

P09 | 昇降機事業

P10 | その他（特殊装置）

P11 | 前中期経営計画振り返り

P12 | 新中期経営計画の基本方針

P13 | 業績計画

P14 | 成長戦略：遊戯機械事業

P15 | 成長戦略：舞台設備事業

P16 | 成長戦略：昇降機事業

P17 | 経営基盤の強化

P18 | サステナビリティへの対応

P19 | 配当政策

P20 | 資本コストや株価を意識した経営の実現について

P21 | ご留意事項

会社プロフィール

商号	三精テクノロジーズ株式会社（Sansei Technologies, Inc.）
本店	大阪府大阪市淀川区宮原４丁目3番29号
設立	1951年2年27日
資本金	32億円
売上高	618億円　(2025年3月期 連結)
従業員数	1,382名　(2025年3月期 連結)
代表取締役社長	板垣　治
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(6357)
事業内容	遊戯機械、舞台設備、昇降機の設計・製作・施工・保守・改修

沿革

- 1951 年：エレベーターや遊戯機械等の製造販売を主たる業務として創業
- 1952 年：舞台機構の設計製作を開始、日本初のローラーコースターを製造
- 1970 年：大阪万博では、ダイダラザウルス（ローラーコースター）や動く歩道等を納入し大きく飛躍
- 2012年以降：当社と関連のある事業を有する国内 / 海外企業を子会社化

創業当時

1951： 三精輸送機株式会社として創業

1952： 舞台機構の設計製作を開始

1952： 日本初のローラーコースター製造

1970： 大阪万博にて大きく飛躍

日本初のジェットコースター

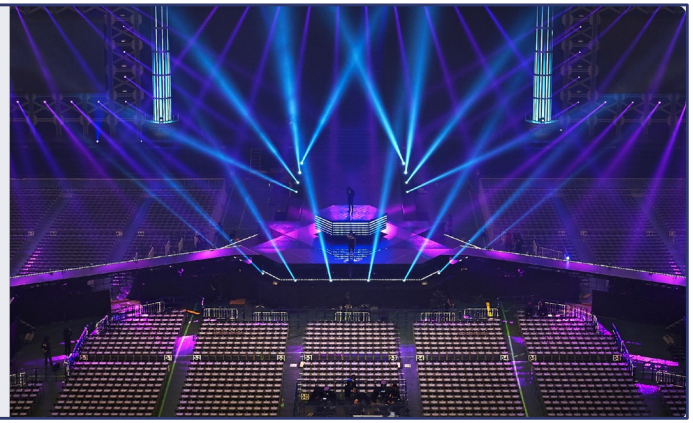
近年

2012：特殊美術で国内パイオニアのテルミックを子会社化

2012：スリルライドに強みのある 米国 S&S WorldWide社を子会社化

2018：ローラーコースター大手企業であるオランダVekoma社を子会社化

2023：テーマパーク等のコンセプト提案等のカナダFORREC社を子会社化



テルミック納入演出装置

事業概要

Sansei Technologies

当社グループは、遊戯機械、舞台設備、昇降機の３事業部門において、多様な製品の設計・製造・施工・保守・改修を行う。

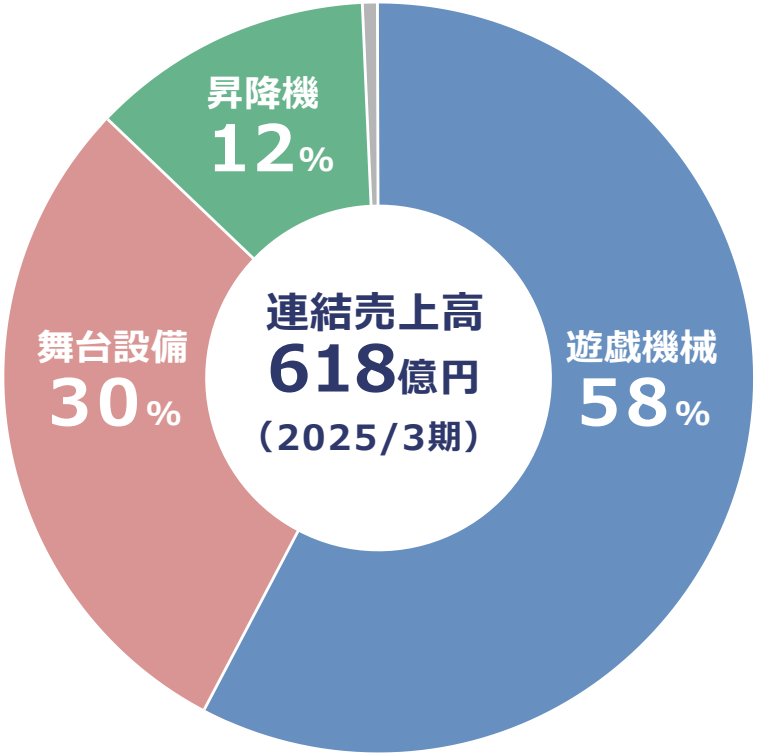
昇降機事業　75 億円

・エレベーターなど

舞台設備事業　184 億円

・劇場、文化ホール等における
吊物機構、床機構、
音響反射板など

・テレビ、イベント、
コンサート等における
電飾や機械装置など



遊戯機械事業　358 億円

・ローラーコースター、
ダークライド、急流すべり、
タワーライドなど

・テーマパーク向け
コンセプト提案、
デザイン提供

業績の推移

積極的事業拡大、グローバル展開

2012 年 国内で仮設舞台装置等を手掛けるテルミックを子会社化 → テルミック

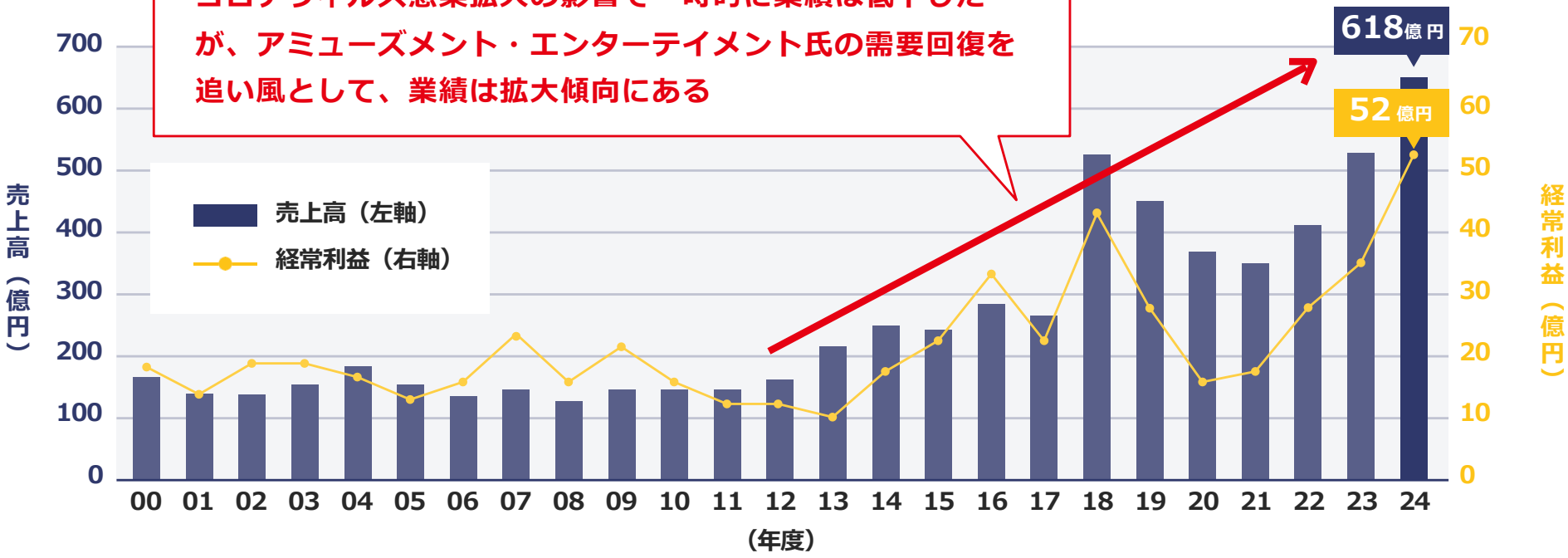
2012年米国でM&A → S&S

2018年オランダで M&A → Vekoma

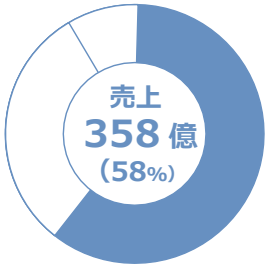
2023年カナダでM&A → FORREC

2010年代に入り、複数のM＆A による積極的な事業拡大と既存事業の堅調な伸びにより、業績は伸長。2020年の新型コロナウィルス感染拡大の影響で一時的に業績は低下したが、アミューズメント・エンターテイメント氏の需要回復を追い風として、業績は拡大傾向にある

過去最高の水準



遊戯機械事業



当社グループの強み

- 国内外大手パークへの納入実績(Walt Disney、Legoland、Six Flagsなど)
- 製品ラインナップが豊富（含むS&S社、Ｖｅｋｏｍａ社）
- グローバルベースでの市場対応、欧米、アジアでの生産
- パークのコンセプトデザイン、機械の設計・製造から販売・据付までの一気通貫体制
- グループ合算でローラーコースターの年間販売台数は世界のトップクラス

〈納入実績〉

ナガシマスパーランド「白鯨」

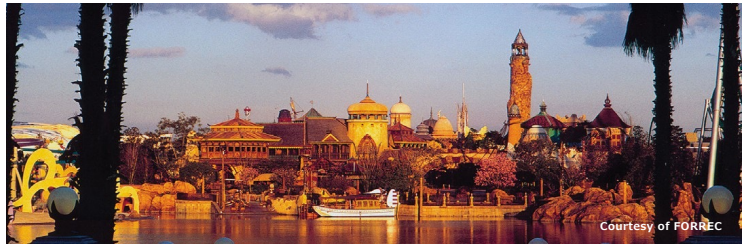
サンリオピューロランド「ボートライド」

Legoland Korea「LEGOLAND® Lookout」

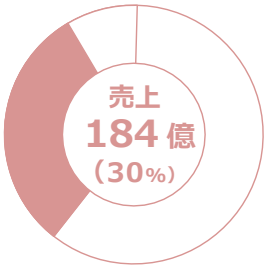
Fårup Sommerland「Fonix」

Hersheypark「Triple Tower」

Port of Entry at Universal's Islands of Adventure



舞台設備事業



当社グループの強み

- 豊富な新設・改修実績と、それに裏打ちされた技術力、施工スキル
- 自社生産設備と自社開発した制御システムにより、顧客ニーズにフレキシブルに対応
- 保守点検と併せた一貫サービスを提供
- 日本国内最大手（公共施設ホール、民間劇場とも）

〈納入実績〉

・全国の公共施設、ホール

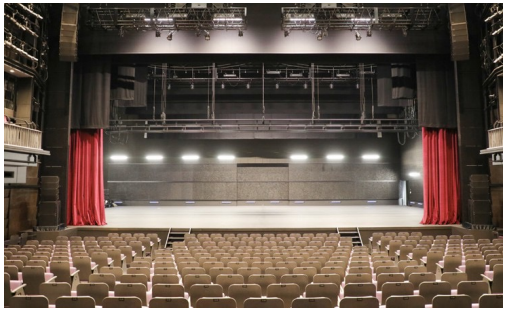
・国立劇場・新国立劇場

・歌舞伎座・フェスティバルホール

・四季[春][秋][海][自由][有明四季]

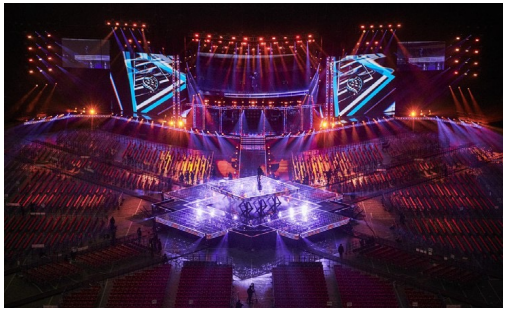
・宝塚大劇場・帝国劇場

THEATER MILANO-Za 舞台機構



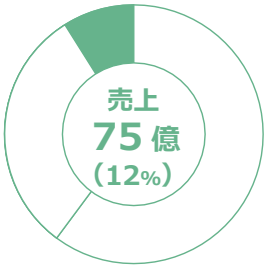
宮崎県立芸術劇場 舞台機構

コンサート 演出装置



モーターショー 演出装置

昇降機事業



当社グループの強み

- 官公庁向けを中心に多数の新設・改修実績
- 標準エレベーターを中心に納入し、安定した品質を維持
- 保守点検と併せた一貫サービスを提供
- 全国に24 時間365日の保守体制を構築

〈納入実績〉

乗用エレベーター

階段室型エレベーター

荷物用エレベーター

ダムエレベーター

その他（特殊装置）

Sansei Technologies

国技館 (大相撲屋形昇降装置)

ボーディングブリッジ 併設エレベーター

乗用人型変形ロボット「SR-01」

4足歩行型ライド「SR-02」

前中期経営計画振り返り（2023/３期～2025/3期）

Sansei Technologies

前中計結果

前中計期間においては、コロナ後のグローバルな市場回復と国内の大型案件を確実に取り込むことなどで、毎期増収増益を達成し、最終年には過去最高の売上高、利益を達成しました。

前中計期間業績（実績）

（単位：億円）

	2023/3期	2024/3期	2025/3期
売上高	406	523	618
経常利益	27	35	52
（同利益率）	（6.8%）	（6.9%）	（8.6%）
当期純利益	17	20	**29**
ROE	5.0%	5.4%	6.9%

遊戯機械事業

方針 グローバルマーケティングと製品開発の強力な推進

実績
- 北米では安定的な受注
- 中東でのプロジェクトを複数受注
- 2023年12月FORRECを子会社化

舞台設備事業

方針 総合エンターテインメント企業を目指した事業の拡充

実績
- 大型案件の確実な受注獲得
- デジタル化やリモート化に対応した新演出システムの開発
- コロナ後のコンサートやイベント関連が活発に動き出し、大幅な受注拡大中

昇降機事業

方針 非エンターテインメント部門としての積極的事業展開

実績 顧客のニーズを的確に捉えて新設事業及び保守・改修事業で安定的に受注獲得

新中期経営計画の基本方針

Sansei Technologies

計画名称 / 期間	新中期経営計画　2026/3期 ～ 2028/3期（3年間）
テーマ	動かす技術で社会に笑顔を“ TEAM Sansei ”の深化と進化! *TEAM＝Theater（舞台）、Elevator（昇降機）、Amusement（遊戯）、Maintenance（保守・改修）
基本方針	➤ 既存３事業の事業拡大と採算性向上

遊戯機械事業

FORRECの活用を含め、一段のグループ連携により販売力、製品競争力を高める。

舞台設備事業

新設、改修、仮設の大口案件に着実に対応、アリーナや新分野への取組みにより受注、売上の成長を図る。

昇降機事業

安定収益事業として、保守改修と合わせて、収益力の向上を目指す。

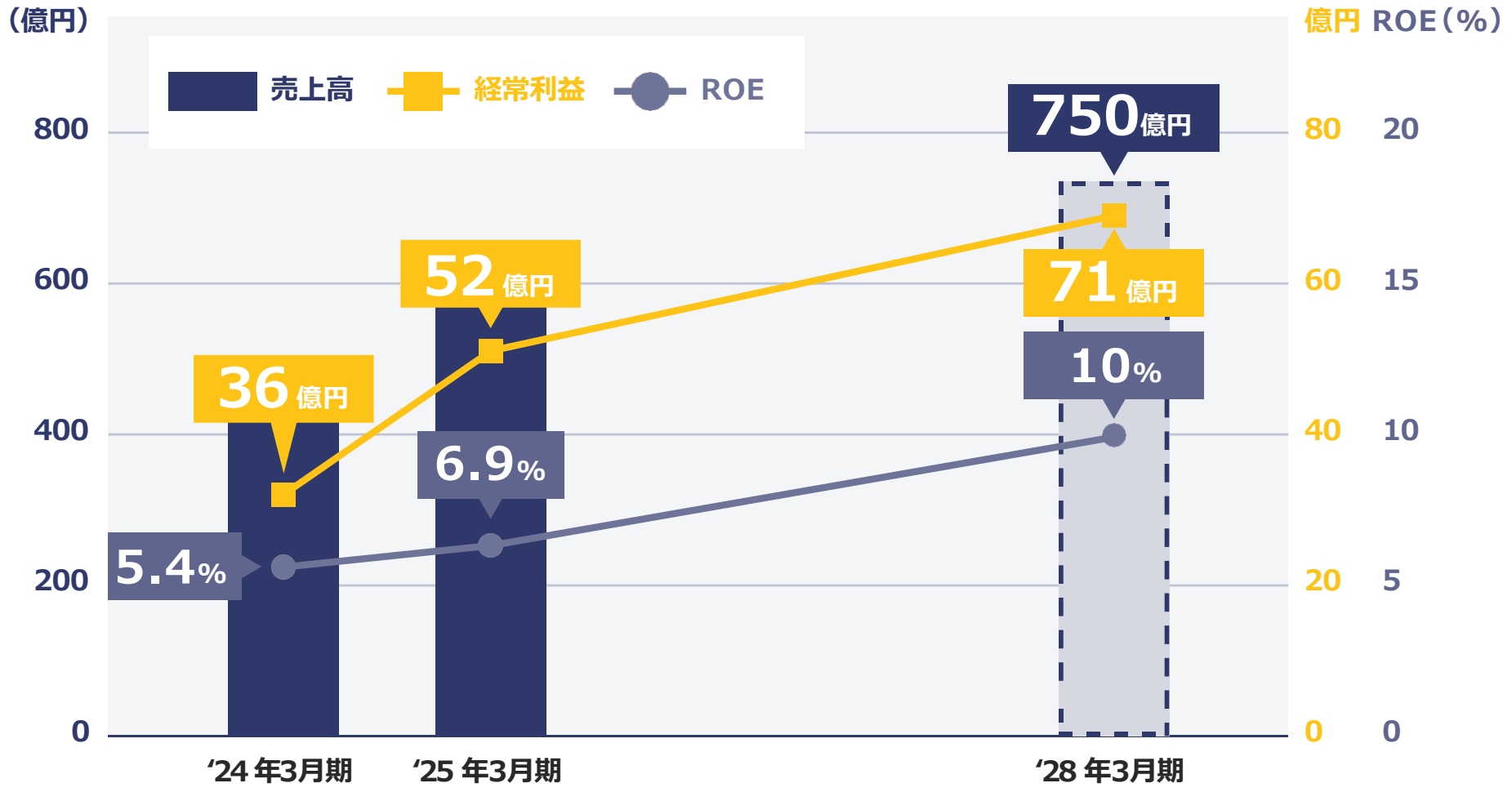
➤ グループ各社との連携(国内、海外)
➤ 新たな柱となる事業分野への参入(M&A含む)
➤ 資本効率性を一段と意識した経営
➤ 目標:ROE10%以上、PBR１倍以上

	売上高	経常利益	経常利益率	当期純利益	ROE
2028/３期：中計目標	750億円	71 億円	9.5%	50 億円	10%

業績計画

Sansei Technologies

売上高750億円 | **経常利益71億円** | **ROE10%** | **PBR1倍以上**



成長戦略：遊戯機械事業

Sansei Technologies

市場環境

- 国内外テーマパークの来場者数は増加しており、投資は堅調に推移する見込み
- 成長市場として、米国、中東、東アジア地域に期待

グローバルなアミューズメントライド企業としての事業拡大と安定化

01

（S&S、Vekoma、FORREC ）
グループ間協働による
国際ビジネスの
競争力の強化

02

ターゲット別の
製品ラインアップ整備と
製品開発

03

高度化するプロジェクトの
要求水準に見合う
技術力と組織力の向上

成長戦略：舞台設備事業

Sansei Technologies

市場環境

- 新設需要に加えて、既存施設の回収需要が堅調に推移すると期待
- コンサート・スポーツイベント関連市場は、引き続き好調を維持する見込み
- コンサート・演劇等の用途ごとに特化したコンセプト型劇場が増加する傾向
- 演出の多様化で装置や操作システムに関するニーズが高度化

総合エンターテインメントと企業グループとして事業拡大

01

営業力強化により
改修需要に確実に対応

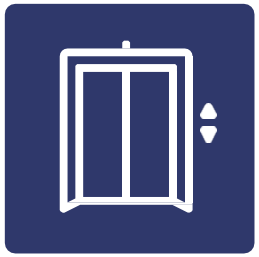
02

拡大が見込まれる
コンサート需要の獲得

03

新しい成長分野の
見極めと事業の拡大

成長戦略：昇降機事業



市場環境

- 新設案件は引き続き安定的に推移
- 加えて当社案件の改修需要は、今後も増加する見込み

安定収益事業としての事業拡大

01

新設案件に加え
増加する改修需要に
確実に対応

02

生産性向上と
一段の安全性向上を
追求

03

着実な事業拡大に向け
製品開発や
他社との協業を推進

生産能力向上に向けた設備投資

・Vekoma 新オフィス・工場の建設
・スマートで働きやすい環境の整備

国内外グループ会社との人材・技術交流における製品開発向上

・国内外の市場における、販売力、製品競争力の強化
・技術開発、クリエイティブ人材の育成

情報システム機能強化（ＤＸ推進及びリスク管理体制強化）

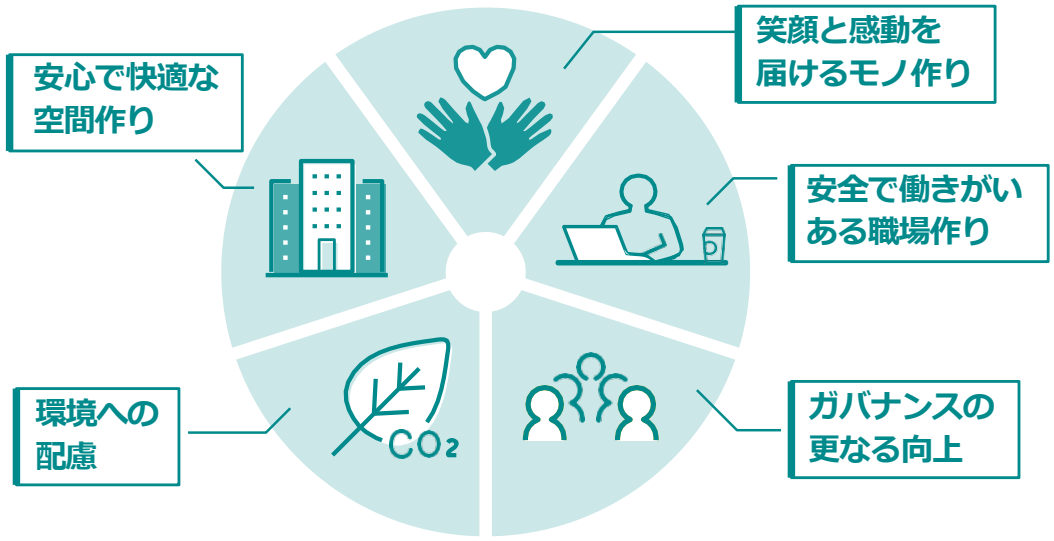
・AI、自動化技術の活用による生産性の向上
・高度化するサイバー攻撃に対応した情報セキュリティ強化

サステナビリティへの対応

Sansei Technologies

基本的な取り組み方針

世界中のお客様に笑顔と感動、そして安全で快適なくらしを提供することを通して、持続的な発展と社会課題の解決に貢献し、中長期的に企業価値を向上させていく。



ESGを意識した業務への取組み、

人材育成、働く環境の整備等を通した、

サステナビリティ対応の推進

人材への投資

- 各部署における中核人材の育成強化
- 社員モチベーションアップ及び生産性向上のための人事制度改革
- 従業員のワークライフバランスの充実
（働きやすい労働環境の整備）

環境対応への取り組み

- 国内連結全体での2035年温室効果ガス削減目標、2013年比△60%を目指す。（スコープ1、2）
- 太陽光発電の拡大、設計・生産・施工での環境負荷軽減への取り組み実践

配当政策

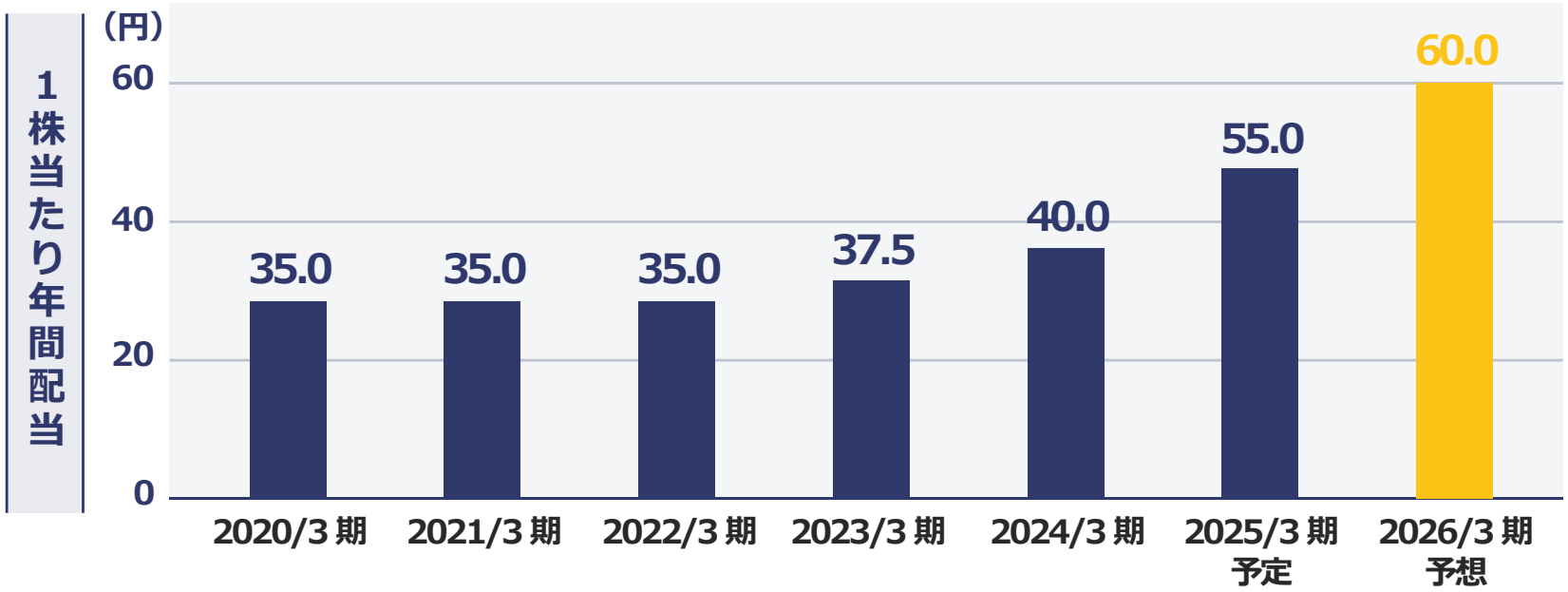
Sansei Technologies

配当政策は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと考え、

①長期かつ安定的な利益還元 **②当期利益の水準** **③手持ち受注工事の期末残高**

の３点を総合的に勘案し配当を決定。

配当は中間配当及び期末配当の年2回



資本コストや株価を意識した経営の実現について

Sansei Technologies

課題

- 海外子会社のれん償却負担（円安により増大）を上回る収益力の向上
- 原材料費及び人件費の高騰に対応する付加価値の向上
- 金利上昇、株価変動に伴う資本コストの上昇傾向

資本収益性を意識した事業戦略実行（中期経営計画）

収益性の向上

株主還元の拡充

IR活動の強化

資本コストを上回る資本収益性の達成

持続的な成長と中長期的な企業価値向上

目標：ROE10%、PBR１倍以上

ご留意事項

■ 本資料に含まれる事業計画、業績予想等、将来に関する記述は、本資料発表日時点で入手可能な情報または同日時点での合理的な仮定や前提に基づき作成されています。また、このような将来に関する記述には、経済動向、他社との競合状況といった潜在的リスクや不確実な要因も内在しています。当社は万全を期して本資料を作成していますが、実際の業績結果、事業展開、財務状況等は記載と異なる結果となる可能性があります。本資料に記載されている情報の正確性、完全性、信頼性について、当社が一切保証するものではありません。

■ 本資料は情報提供のみを目的とし、当社株式の購入等を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的とするものではありません

この資料に関するお問い合わせは
三精テクノロジーズ株式会社
https://www.sansei-technologies.com/contact/